



いわて復興展

～復興写真展、被災企業・支援商品物産展、工芸品展示販売～



岩手県商工会連合会(所在地:岩手県盛岡市、会長:高橋 富一)は、東京駅前のJPタワー・KITTE 地下1階 東京シティアイにて「いわて旬彩プラザ」の連動イベントとして、2015年10月23日(金)、24日(土)、25日(日)の3日間、東日本大震災津波からの復興に立ち向かう岩手の様子や事業者を集めた「いわて復興展」を開催いたします。

公式ホームページ: <http://www.iwate-shunsai-plaza.jp>
公式 Facebook: <https://www.facebook.com/iwate.shunsai.plaza>

■いわて旬彩プラザ事業

東日本大震災津波から4年が経過いたしました。甚大な被害を受けた岩手県ですが、全国の皆様からの応援・ご支援によって復興の道を歩み続けています。その一方で、一度失った販路・縮小した販路の再開拓には未だに大きな課題が残っています。

当連合会ではこのような現状を打開すべく、岩手県内の商工会地区の中小企業支援策として、真摯なものづくりに取り組む岩手県の数多くの事業者を応援し、また震災後にお世話になった全国の皆様へ心からの感謝の気持ちをお届けするため、JPタワー・KITTE 地下1階 キッチングランシェ内に「いわて旬彩プラザ」アンテナショップをオープンいたしました(2015年6月19日～2016年1月31日の期間限定)。この度、岩手の復興の今を伝える写真展や被災企業・支援商品の物産品を販売する連動イベントとして「いわて復興展」を開催いたします。

<イベント内容>

■東日本大震災からの復興に関する写真展示

<p>岩手 釜石・大槌</p> <h2>復興カメラ</h2> <p>fukko-camera</p>	<p>「被災地(釜石市・大槌町)の写真パネル展」(企画・運営:岩手県、@リアスNPOサポートセンター) 東日本大震災の風化防止や、ふるさとへの想い・教訓を次世代に継承していくための写真展「復興カメラ」。岩手県釜石市・大槌町の写真を中心に、震災直後から撮りためてきた写真を通して見えてくる、まちの様子や変化、私たちの歩みを、知ってほしい。「日々刻々と変化し続ける、ふるさと。今日のこの景色は、今日しか見ることができない。」そんな想いで、活動に取り組んでいます。</p>
--	---

岩手日報社「岩手日報 紙面でつづる 復興の歩み」

岩手日報は、2011年の東日本大震災後の毎年3月11日に「写真で振り返る被災地の1年」として被災地の今をつづっています。漁復活に沸く漁場、復興への願いを込める七夕まつり、亡き人への思いを胸に心静かに祈る家族…。新しい暮らしと向き合いながら、一步一步前に進む人々の姿があります。本社特別機による被災地の上空写真は、年ごとに本格化する復興事業と、古里の再生を信じ日々変化する景色を浮き彫りにします。震災から4年7カ月が過ぎた今、変わらぬ思いを胸に、変わりゆくものを受け入れ「あした」へ向かい歩み続ける被災地の姿を、あらためてご覧ください。

■東日本大震災語り部

復興カメラ担当者によるトークイベント「私たちの3.11」

10月23日(金)13:00～15:00～、10月24日(土)13:00～15:00～、10月25日(日)13:00～15:00～

■生産者による岩手県物産品・工芸品の展示販売

(物産品事業者5事業者)

- ・酔仙酒造【陸前高田市】……………日本酒
- ・自園自穡ワイン紫波【紫波町】……………新酒ワイン
- ・梨忠商店【洋野町】……………天然わかめ・海産物珍味
- ・道の駅 遠野風の丘【遠野市】……………農産物(りんご・直送野菜等)
- ・キスケヤ【大槌町】……………いわて三陸 海産物加工品

(工芸品事業者2事業者)

- ・たけぞう【栗石町】……………拭き漆、椀
- ・長山工芸【一戸町】……………南部細目組紋様細工



※写真はイメージです。

※本事業は、全国商工会連合会「小規模事業者支援パッケージ事業 共同販売拠点(アンテナショップ)による地域産品等の販路開拓支援事業」を活用し、岩手県商工会連合会が主催となり実施するアンテナショップ事業です。東日本大震災からの復興に立ち向かう岩手県商工会地区の中小企業支援として、岩手の自然と文化と環境に育まれた豊かな地域産品を全国に発信いたします。

